

高齢者の健やかな生活を求めて



真下弘子 [ましも・ひろこ]

介護老人保健施設南大沢ホロス由木
(東京都)

はじめに

私はいまの職場に来る前は、企業内診療所に勤務していました。企業内診療所では、その企業で働いている人の健康を守るために、病気の発症を未然に防ぐ定期健康診断を基本にした取り組みと、病気を発症してしまった人の治療を主に行っていました。対象者となるのは現役労働者でしたので、子どもや高齢者とは関わることはありませんでした。

そんな私が次に選んだ職場が、老健施設「南大沢ホロス由木」です。高齢者は治療において考慮しなければいけない事項が多々あり、経験のない私にとっては全く新しい挑戦になりました。そして現在では、社会のなかでの介護保険施設の役割の大きさを実感して仕事に臨んでいます。

施設紹介

東京都の多摩ニュータウンの緑豊かな環境に囲まれた南大沢の地に、当施設はあります。在宅の生活に不安がある方に対して、リハビリをすることで筋力を上げ、安心して生活が送れるように在宅復帰支援を行っています。

それでも在宅での復帰が難しい方には、他の専門施設への入所支援を行っています。また、在宅高齢者に、そして家庭で介護される方々に、短期間なりともリフレッシュしていただけるように、通所リハビリやショートステイによる在宅療養支援を行っています。

肉体的なりハビリに加え、精神面からの「癒し」にも力を入れて、通所リハビリからショートステイ、長期入所まで対応することで、利用者とその家族両方が、ゆとりをもってその後の新しい生活をスタートで

きるように支援しています。

業務について

薬剤師の業務としては、長期入所とショートステイの利用者に対するすべての薬の調剤をしています。薬剤は、すべて一包化（別包のものはすべてホチキス止め）し、服用のタイミングごとに赤、黄、青など色分けをすることで誤投薬防止の対応をしています。またワクチンを含めた薬剤の管理も行っています。

まず長期入所の方ですが、定時処方と臨時処方があります。定時処方では毎週1週間分の薬を各ナースステーションに配薬します。そのほかにその日の体調や症状の変化に応じて定時処方の変更や臨時処方が出るので、都度対応して調剤を行っています。ショートステイでは、持参薬を受け取り、お薬手帳と照らし合わせて間違いなく薬が届いているかを確認し、一包化してナースステーションに戻します。

高齢者の健やかな生活を求めて

当施設で働くことが決まったときには、高齢者なので服用する薬の数がかなり多いのだろうと思っていました。しかし実際に来てみると、服用する薬の数は思っていたより少なかったです。年を重ねることで認知症を患っている方はある程度いますが、高齢者といわれる年齢にもかかわらず、薬を服用していない方、服用していても下剤や眠剤のみでいわゆる生活習慣病などの薬を服用していない方がかなりいらっしゃいました。

いままで働き世代の患者のみと関わってきた私としては、大きな驚きでした。実際に業務に携わるようになってみると、長期入所間もない方や、ショートステイの利用者の持参薬では服用数の多い方も見受け